

事業所名

タマリバ

放課後等デイサービス 支援プログラム

作成日

令和 6年

9月

30日

| | | | | |
|-----------|---|---|--|-------|
| 法人（事業所）理念 | | 自由に生まれる遊びを通じて、子ども及び保護者のニーズに合わせた支援を行う。 | | |
| 支援方針 | | <ul style="list-style-type: none"> ・生活の基本的動作を習慣化し、集団生活を送れるよう、子どもそれぞれの状態や環境に応じて、適切かつ効果的な支援を行う。 ・区市町や障害福祉、保健医療サービスなど、地域の他施設と連携し、あらゆるの視点からサービスの提供に努める。 ・利用者が不利益の無いよう体制を整え、従業員の育成に務める。 | | |
| 営業時間 | | 平日： 14 時 30 分から 17 時 00 分まで 学校休業日： 10 時 00 分から 16 時 30 分まで | 送迎実施の有無 | あり なし |
| 支 援 内 容 | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣を身に着け、生活リズムの安定を図り、子どもの状態に合った目標を設定する ・自宅と同用の生活行為（トイレや着替え、宿題等）や様々な遊びを通して、学びを促進する | | |
| | 運動・感覚 | <ul style="list-style-type: none"> ・運動遊びを通して手先の動きや体の動きが広がるよう促す ・触覚遊びや揺れ遊びを通じて、楽しい感覚で満たされる時間を提供する ・感覚過敏のお子さんに必要な対応を見つけ、日々落ち着いた生活を送れるよう支援する | | |
| | 認知・行動 | <ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人一人がどのような見え方をしているのか、なぜその行動をとるのかを理解し、適切な対応に努める ・生活習慣を身につけるための繰り返しや、TP0にあった行動の経験値を積み重ねて適切な立ち振る舞いを学ぶ | | |
| | 言語 コミュニケーション | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの状況に合わせて、表情や身振り、絵カード等でのやり取りが広がるよう支援する ・他者とのコミュニケーションのなかで、相手の気持ちを想像したりや協力的な言動が展開できる場面を広げる | | |
| | 人間関係 社会性 | <ul style="list-style-type: none"> ・安心して他者と関わる経験を積むために、安心感や信頼感をはぐくむ支援を行う ・相手と良好な関係を保てるよう、自身の思いや考えを適切な方法で伝える経験が積めるよう支援する ・異年齢の集団での活動や、地域での活動を通して、家庭や社会で活動するための土台作りを支援する | | |
| 家族支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの「できた」や「嬉しい」を共有し充実した生活を支援する ・生活の困り感を解決する手立てをともに考え挑戦する ・必要に応じて施設見学や相談面談を取り入れ、進路や将来を見据えた家族支援をする | 移行支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校等の関係施設と成長や課題、対応を共有し、同じ方向を目指した支援を務める | |
| 地域支援・地域連携 | <ul style="list-style-type: none"> ・市町や関係機関と連携し、進学や就職を見据えて情報共有や居場所づくり等提案する | 職員の質の向上 | <ul style="list-style-type: none"> ・外部研修、ZOOM等を利用した研修に職員の参加を促す ・伝達研修や毎月のカンファレンスで意見交換や学びが行えるようにする | |
| 主な行事等 | <ul style="list-style-type: none"> ・季節に合わせた行事を企画し、季節感の育成や自然、生活、地域と接する機会を設定する 主な行事：お花見、七夕、ハロウィン、クリスマス、正月、節分、お泊り会、調理体験、教室体験等 | | | |